

施工段階		下地・間仕切り		6	設備工事： ALCパネル貫通処理	シート番号 6-6			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	-						

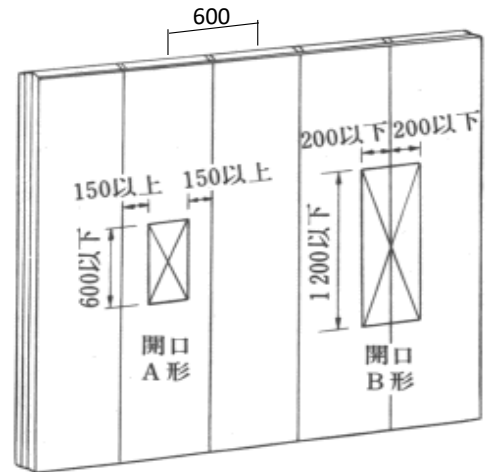
ポイント

■ ALCパネルの規則

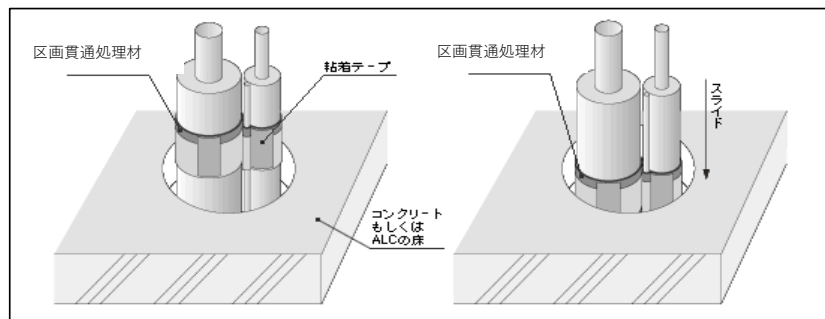
- ・ ALCパネルは基本的に溝掘して埋め込んだり、切欠くことができません。開口できる場所は決まっています。
- ・ ALCパネル割り図を建築担当者に確認し開口部分を確認します。開口が難しい場合は配管・ダクトルートの変更が必要になります。
- ・ ガラリなど大きな開口部には、開口補強が必要なので早めの調整が必要です。

■ ALCパネルの貫通処理（区画壁の場合）

- ・ 貫通箇所は認定工法による貫通処理が必要です。
- ・ 床・壁毎に各メーカーにて様々な認定工法があります。各認定工法の特徴を把握してより納まりを検討します。
- ・ 区画の種類を確認し適正な工法にて施工を行います。



(例) ALC開口規定



(例) 貫通処理方法

先輩アドバイス

- ・ ALCパネルは外壁に採用されることが多くなっています。施工計画上は納期も考慮し着工後の前段に開口位置を決定する必要があります。全体工程に影響が無いように調整が必要です。
- ・ 外壁の貫通部にはALC専用の止水処理剤を使用する必要があります。

チェック項目

- 開口補強は建築工事と打合せ、調整しましたか。
- 区画貫通処理方法を確認しましたか。

失敗すると...

- ・ ALCパネルの交換になります。
- ・ 区画貫通処理のやり直しになります。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		-	-	○	-	-	-	-	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：積水化学工業(株)						改訂	2023年3月1日	